

建築物移動等円滑化基準チェックリスト

川崎市

- 施設等の欄の(第〇条)はバリアフリー法施行令の該当条文です。
- 施設等の欄の【第〇条】は川崎市福祉のまちづくり条例第4章(委任規定)の該当条文で、建築物移動等円滑化基準に付加した事項です。
- 委任規定で追加した特定建築物は、「不特定かつ多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等*」とあるのを「多数の者」と読替えて基準を適用します。

○一般基準 (不特定かつ多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等*が利用するすべての部分に係る基準)

施設等	チェック項目	設計	完了
廊下等※屋内 (第 11 条)	①表面は滑りにくい仕上げであるか ②点状ブロック等の敷設 (階段又は傾斜路の上端に近接する部分) ※1、※2 ③すべての廊下等について、上記①から②を満たしているか		
階段※屋内 (第 12 条) 【第 29 条】	①手すりを設けているか(踊場も含む) ②表面は滑りにくい仕上げであるか ③段は識別しやすいものか ④段はつまずきにくいものか ⑤点状ブロック等の敷設 (段部分の上端に近接する踊場の部分) ※1、※3 ⑥主たる階段を回り階段としていないか ⑦主たる階段の幅(当該幅の算定に当たっては、手すりの幅は、10cm を限度としてないものとみなす)は、130cm 以上であるか 当該階段を共同住宅に設ける場合並びに当該階段を設けようとする特別特定建築物等に令第18条第2項第5号に規定するエレベーター及びその乗降ロビーが設けられている場合には、適用しない ⑧すべての階段について、上記①から⑦を満たしているか		
傾斜路※屋内 (第 13 条)	①手すりを設けているか (勾配1/12以下で高さ16cm以下の傾斜部分は除く) ②表面は滑りにくい仕上げであるか ③前後の廊下等と識別しやすいものか ④点状ブロック等の敷設 (傾斜部分の上端に近接する踊場の部分) ※1、※4 ⑤すべての傾斜路について、上記①から④を満たしているか		

- ※1 不特定かつ多数の者が利用し、又は主として視覚障害者が利用するものに限る
- ※2 告示で定める以下の場合を除く(告示第 1497 号)
 - ・勾配が1/20以下の傾斜部分の上端に近接する場合
 - ・高さ16cm以下で勾配1/12以下の傾斜部分の上端に近接する場合
 - ・自動車車庫に設ける場合
- ※3 告示で定める以下の場合を除く(告示第 1497 号)
 - ・自動車車庫に設ける場合
 - ・段部分と連続して手すりを設ける場合
- ※4 告示で定める以下の場合を除く(告示第 1497 号)
 - ・勾配が1/20以下の傾斜部分の上端に近接する場合
 - ・高さ16cm以下で勾配1/12以下の傾斜部分の上端に近接する場合
 - ・自動車車庫に設ける場合
 - ・傾斜部分と連続して手すりを設ける場合

○一般基準 (不特定かつ多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等*が利用する便所を設ける場合の基準)

施設等	チェック項目	設計	完了
便所 (第 14 条) 【第 30 条】	①車椅子使用者用便房を設けているか (1以上) <ul style="list-style-type: none"> (1)腰掛便座、手すり等が適切に配置されているか (2)車椅子で利用しやすいよう十分な空間が確保されているか ②水洗器具(オストメイト対応)を設けた便房を設けているか (1以上) ③小便器を設ける場合、床置き式の小便器、壁掛式小便器(受け口の高さが35cm 以下のものに限る)その他これらに類する小便器を設けているか (1以上) ④床の表面は、滑りにくい材料で仕上げているか ⑤車椅子使用者用便房及び当該便房が設けられている便所の出入口の幅は、80cm 以上であるか		

○一般基準（不特定かつ多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等*が利用するすべての部分に係る基準）

施設等	チェック項目	設計	完了
ホテル又は 旅館の客室 (第15条)	①客室の総数の1/100以上(端数は切り上げ)の車椅子使用者用客室を設けているか		
	②便所(同じ階に共用の車椅子使用者用便房があれば代替可能)		—
	(1)便所内に車椅子使用者用便房を設けているか		
	(2)出入口の幅は80cm以上であるか(当該便房を設ける便所も同様)		
	(3)出入口の戸は車椅子使用者が通過しやすく、前後に水平部分を設けているか(当該便房を設ける便所も同様)		
	③浴室等(共用の車椅子使用者用浴室等があれば代替可能)		—
	(1)浴槽、シャワー、手すり等が適切に配置されているか		
	(2)車椅子で利用しやすいよう十分な空間が確保されているか		
	(3)出入口の幅は80cm以上であるか		
	(4)出入口の戸は車椅子使用者が通過しやすく、前後に水平部分を設けているか		
敷地内の 通路※屋外 (第16条)	①表面は滑りにくい仕上げであるか		
	②段がある部分		—
	(1)手すりを設けているか		
	(2)識別しやすいものか		
	(3)つまずきにくいものか		
③傾斜路		—	
(1)手すりを設けているか(勾配1/12以下で高さ16cm以下又は1/20以下の傾斜部分は除く)			
(2)前後の通路と識別しやすいものか			
④すべての敷地内の通路について、上記①から③を満たしているか			
駐車場 (第17条)	①利用者用の駐車場を設ける場合、車椅子使用者用駐車施設を設けているか(1以上)		
	(1)幅は350cm以上であるか		
	(2)利用居室までの経路が短い位置に設けられているか		
標識 (第19条)	①エレベーターその他の昇降機、便所又は駐車施設があることの表示が見やすい位置に設けているか		
	②標識は、内容が容易に識別できるものか(日本産業規格Z8210に適合しているか)		
案内設備 (第20条)	①エレベーターその他の昇降機、便所又は駐車施設の配置を表示した案内板等があるか(配置を容易に視認できる場合は除く)		
	②エレベーターその他の昇降機、便所の配置を点字その他の方法(文字等の浮き彫り又は音による案内)により視覚障害者に示す設備を設けているか		
	③案内所を設けているか(①、②の代替措置)		

○視覚障害者移動等円滑化経路（道等から案内設備までの1以上の経路に係る基準）※1、※2

施設等	チェック項目	設計	完了
案内設備 までの経路 (第21条)	①線状ブロック等・点状ブロック等の敷設又は音声誘導装置の設置(風除室で直進する場合は除く)		
	②車路に接する部分に点状ブロック等を敷設しているか		
	③段・傾斜がある部分の上端に近接する部分に点状ブロック等を敷設しているか ※3		

※1 不特定かつ多数の者が利用し、又は主として視覚障害者が利用するものに限る

※2 告示で定める以下の場合を除く(告示第1497号)

- ・自動車庫に設ける場合
- ・受付等から建物出入口を容易に視認でき、道等から当該出入口まで線状ブロック等・点状ブロック等や音声誘導装置で誘導する場合

※3 告示で定める以下の部分を除く(告示第1497号)

- ・勾配が1/20以下の傾斜部分の上端に近接する場合
- ・高さ16cm以下で勾配1/12以下の傾斜部分の上端に近接する場合
- ・段部分又は傾斜部分と連続して手すりを設ける踊場等

○移動等円滑化経路（道等から利用居室、車椅子使用者用便所・駐車施設に至る1以上の経路に係る基準）

施設等	チェック項目	設計	完了
移動等円滑化経路(第18条第2項第一号) 【第31条】	①階段・段が設けられていないか（傾斜路又はエレベーターその他の昇降機を併設する場合は除く）		
出入口 (第二号)	①幅は80cm以上であるか ②戸は車椅子使用者が通過しやすく、前後に水平部分を設けているか ③直接地上へ通ずる出入口の幅は、90cm以上であるか		
廊下等※屋内 (第三号)	①幅は140cm以上であるか(共同住宅は120cm以上) ②区間50m以内ごとに車椅子が転回可能な場所があるか ③戸は車椅子使用者が通過しやすく、前後に水平部分を設けているか		
傾斜路※屋内 (第四号)	①幅は140cm以上であるか(共同住宅は120cm以上)(階段に併設する場合は90cm以上) ②勾配は1/12以下(高さ16cm以下の場合は1/8以下)であるか ③高さ75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊場を設けているか		
エレベーター及びその乗降ロビー (第五号)	①籠は必要階(利用居室又は車椅子使用者用便所・駐車施設のある階、地上階)に停止するか ②籠及び昇降路の出入口の幅は80cm以上であるか ③籠の奥行きは135cm以上であるか ④乗降ロビーは水平で、150cm角以上であるか ⑤籠内及び乗降ロビーに車椅子使用者が利用しやすい制御装置を設けているか ⑥籠内に停止予定階・現在位置を表示する装置を設けているか ⑦乗降ロビーに到着する籠の昇降方向を表示する装置を設けているか ⑧不特定多数の者が利用する2,000㎡以上の建築物に設けるものの場合 (1)上記①から⑦を満たしているか (2)籠の幅は、140cm以上であるか (3)籠は車椅子が転回できる形状か ⑨不特定多数の者又は主に視覚障害者が利用するもの場合 ※1 (1)上記①から⑧を満たしているか (2)籠内に到着階・戸の閉鎖を知らせる音声装置を設けているか (3)籠内及び乗降ロビーに点字その他の方法(文字等の浮き彫り又は音による案内)により視覚障害者が利用しやすい制御装置を設けているか (4)籠内又は乗降ロビーに到着する籠の昇降方向を知らせる音声装置を設けているか		—
特殊な構造又は使用形態のエレベーターその他の昇降機 (第六号)	①エレベーターの場合 (1)段差解消機(平成12年建設省告示第1413号第1第九号のもの)であるか (2)籠の幅は70cm以上であるか (3)籠の奥行きは120cm以上であるか(車椅子使用者が籠内で方向を変更する必要がある場合) (4)籠の床面積は十分であるか(車椅子使用者が籠内で方向を変更する必要がある場合) ②エスカレーターの場合 (1)車椅子使用者用エスカレーター(平成12年建設省告示第1417号第1ただし書のもの)であるか		—
敷地内の通路 ※屋外 (第七号)	①幅は140cm以上であるか ②区間50m以内ごとに車椅子が転回可能な場所があるか ③戸は車椅子使用者が通過しやすく、前後に水平部分を設けているか ④傾斜路 (1)幅は140cm以上であるか(段に併設する場合は90cm以上) (2)勾配は1/12以下(高さ16cm以下の場合は1/8以下)であるか (3)高さ75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊場を設けているか(勾配1/20以下の場合は除く)		—
(第3項)	⑤上記①から④は地形の特殊性がある場合は車寄せから建物出入口までに限る		

※1 告示で定める以下の場合を除く(告示第1494号)
・自動車車庫に設ける場合